

2024年 2月3日(土) MEITO SR.HIGH SCHOOL'S 39th

ANNUAL ENGLISH SPEECH CONTEST(第39 回名東高校スピーチコンテスト)

この行事は日常の授業で身に着けた英語運用能力を活かして学習成果をスピーチという形で発表するという、本校独自の行事であり、①レシテーション(3分以内の自由選択による英文の暗唱) ②スピーチ(SDGsに関する自作の5分以内の原稿のスピーチ) ③国際英語科1年・2年の生徒による、英語グループパフォーマンス の3部構成です。どの部門に出場した生徒も全力で取り組むことができ、非常にレベルの高いコンテストになりました。

本年度校内予選を勝ち抜き本選へ出場し、見事本選入賞を果たした皆さんのコメントと、モデルスピーチの様子をご紹介します。

レシテーションの部

優勝 1L 清水 梨音 What adults can learn from kids
まず、アドバイスしてくださった先生方、一緒に練習したクラスみんな、応援してくれた友達、本当にありがとうございました。初めての経験で不安だったため、最初はどしたらいいかわからず困っていたところを、たくさん助けてもらいました。感謝の気持ちでいっぱいです。
オーディション前に題材を決める際、私は、childishという言葉が目につきました。よく言われるからです。そして文を読んで、このレシテをぜひとも私がみんなに伝えたいと思い、選びました。



どうやって childish という言葉に耳を傾けてもらうか、スピーチ全体を表現するか、また、私が普段からとても早口なため、ゆっくり抑揚をつけて話すことにとても苦労しました。そのため、時間がある時は常に文章を暗唱したり、何度も先生方に指導していただいたりして当日を迎えました。本番は、思っていたより緊張はなくて、スピーチをすることを楽しんでいる自分がいました。本当に自分にとってとても良い経験、自信となったため、来年のスピーチ部門はもちろん、他にも色々な場面で役立てたいと思います。

準優勝 1L 齋藤 麻子 Malala Speech at UN General Assembly
高い実力を持つ参加者の中で2位という成績を収める事ができて驚きと同時に嬉しく思います。オーディションの段階では「選ばれたらいいな」とふわっと思っていたものが練習を積んでいくにつれ「より良くしたい」「賞を取ってみたい」という気持ちが強くなっていきました。レシテーションをより良くするために一緒に題材研究をしてくださったり、指導をしてくださった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。



また、お互いに高め合いながらたくさん練習してきた仲間たちにも感謝しています。このスピーチコンテストを通してさらに英語に興味を持ち、自分の英語に対する課題も見つける事ができました。とても貴重な経験になったと思います。ありがとうございました。

3位 1L 往田 龍河 Stay Hungry, Stay Foolish

まず、スピコンに関わった全ての人に感謝します。私は中学校の頃に英語の授業で学び、印象に残ったスティーブ・ジョブズの題材を選びました。練習を始め、最初の方は成長を感じたものの、本番辺りになるとどこを改善したらよいかわからなくなりました。

その度に担当の先生やランスカの先生に聞き、ここまで上達することができました。そして、本番になると今までの自分の練習の成果を

出すことができ、3位を取ることができました。この経験は私が今年行く

留学や、来年のスピコンなど色々なところに活かせると思います。今回を通して自分の英語の良い点、改善点の両方を見つけることができました。1位を取れなかった悔しさをバネに来年のスピコンもオーディションに合格し、本戦で1位を目標に頑張っていきたいと思いました。



スピーチの部

優勝 2H 野村 紡希 When Small Waves Come Together

優勝することができてとても嬉しいです。出場者は英語科の生徒ばかりだったので、その中で自分がどれだけアピールできるのか不安でした。

加えて、これほど長い英文を書いたことも話したこともなかったので何度か挫折しそうになりましたが、先生方に何度も原稿を見ていただいたり、

話し方のコツを教えていただきながら無事に本番をむかえることができました。また、遅くまで学校に残って友達と一緒に練習したことは高校生活の良い思い出になりそうです。スピーチコンテストを通じて、英語が好きという気持ちを再確認することができました。これからも受験のための英語だけではなく、世界とつながることができる英語を身に着けるために努力していきたいと思います。



準優勝 2L 船坂 杏月 Be Respectful

名東の国際英語科として2年間、ワールドスタディーズの授業で行ってきた、知識の習得→ゼミ活動(自分で考えた解決策に基づいたアクションの実施)

の成果がこのような形で認められてとても嬉しく思います。

正直最初はそこまで乗り気ではありませんでしたが、選ばれたからには本選出場者として恥ずかしくないようなスピーチをしようと一生懸命

取り組んでいくうちに、どうしたら聞き手にもっとメッセージを伝えることができるかなど考え毎日練習していました。私を信じて指導し、支えてくださった先生方、応援してくれた家族や友達、スピーチコンテストに関わった全ての方に感謝の気持ちを込め、これからも日々邁進していきたいです。



3位 2L 近藤 麗央 Differences

『多様性』、『国際交流』の大切さを、アメリカでの経験をもとに、お話ししました。私のスピーチが『好きだ』と言って応援してくれた友人、直前まで私を指導してくださった先生方のおかげで、後悔することなく、終わることが出来ました。ありがとうございました。



ユネスコ協会会長賞 2L 箕浦 摩保 “Be yourself.” What does that Mean?

今回、ユネスコ協会会長賞をとることができ、嬉しく思います。昼放課や放課後に、一緒に練習し、高めあってきた仲間、指導してくださった担当の先生には感謝の気持ちでいっぱいです。入学時、簡単な自己紹介でさえ、わざわざメモをしてそれを読んでいて自分がまさか5分の英語のスピーチを作れるなんて思いませんでした。スピーチ作りは文章がどうしても抽象的になってしまったり、長さが足りなかったりなど、苦戦しました。ですが、担当の先生が言葉の引き出しを沢山作ってくださったので楽しく原稿を作ることができました。部活動と両立するために帰り道や家での隙間時間に練習を頑張りました。無事にスピーチコンテストを終えることができ、良かったです。ありがとうございました。



田中 友楽

Fun English Experience Increase Your Future Possibilities
(長久手スピーチコンテスト参加生徒によるモデルスピーチ)

Hnin Yadanar Aung

(留学生による日本語でのモデルスピーチ)



グループプレゼンテーション部門1位 2L-A
On The Night You Were Born



本選出場生徒と校長先生・ジャッジの方との記念撮影

当日は多くの方にご来場いただき、誠にありがとうございました。
当日のアンケート結果をもとに、次年度以降もより良いコンテスト
になるよう、生徒教職員共に考えてまいります。